

- 1.適用範囲 この規格は、鉄及び鋼、銅及び銅合金、亜鉛合金、アルミニウム及びアルミニウム合金素地上に防食並びに装飾の目的で行った有効面のニッケルめっき、銅-ニッケルめっき、ニッケルクロムめっき及び、銅-ニッケルクロムめっき(以下、めっきという。)(¹)(²)について規定する。
- 注 (¹) 二層ニッケル、マイクロクラッククロム、マイクロポーラスクロムなどを含む。
- (²) 黄銅めっきは、銅めっきに含める。
- 4.種類、等級、記号及び使用環境
- 4.1 種類、等級及び記号 めっきの種類、等級及び記号は、素地金属、下地めっき、最上層めっき、めっきの最小厚さによって表1～2のとおり区分し、その記号は、JIS H 0404による

表2 種類、等級及び記号

単位 μm

素地金属	めっき金属の種類	等級	下地めっき	下地めっきの最小厚さ	最上層めっき	最上層めっきの最小厚さ	記号
銅及び銅合金	ニッケルクロムめっき	1級	Nib	2	Cr r	0.1	Ep-Cu / Ni 2 b , Cr 0.1 r 又は Ep-Cu / Nib, Cr r [1]
		2級	Nib	5	Cr r	0.1	Ep-Cu / Ni 5 b , Cr 0.1 r 又は Ep-Cu / Nib, Cr r [2]
		3級	Nib	10	Cr r	0.1	Ep-Cu / Ni 10 b , Cr 0.1 r 又は Ep-Cu / Nib, Cr r [3]
		4級	Nib	25	Cr r	0.1	Ep-Cu / Ni 25 b , Cr 0.1 r 又は Ep-Cu / Nib, Cr r [4]
		5級	Nid	30	Cr r	0.1	Ep-Cu / Ni 30 d , Cr 0.1 r 又は Ep-Cu / Nid, Cr r [5]
			Nid	25	Cr mc	0.1	Ep-Cu / Ni 25 d , Cr 0.1 mc 又は Ep-Cu / Nid, Cr mc [5]
			Nid	25	Cr mp	0.1	Ep-Cu / Ni 25 d , Cr 0.1 mp 又は Ep-Cu / Nid, Cr mp [5]

5.品質

- 5.1 めっきの外観 めっきの外観は、9.2によって試験を行い、めっきの有効面に、ざらつき、焦げ、割れ、ピット、素地の露出などのめっきの欠陥、膨れ、はく離などの密着不良の徴候、更に汚れ、きずなどがあってはならない(³)。

注 (³) 素地に欠陥があつて、通常の方法では欠陥が明らかにならないものでも、めっきすることによって、めっきの欠陥のように現れるものは受渡当事者間の協定による。

- 5.3 めっきの最小厚さ めっきの最小厚さは、9.4によって試験を行い、表1～2に適合しなければならない。

1.適用範囲

この規格は、さび止め顔料に鉛系及びクロム系成分を使用しないで、一般的な環境下での鉄鋼製品などのさび止めに用いる一般用さび止めペイントについて規定する。ただし、JIS K 5674 に規定する鉛・クロムフリーさび止めペイントは除く。

4.種類 種類は、次によって区分する。

- a) 1種 屋内外における鉄鋼製品に用いるボイル油系さび止め塗料。
- b) 2種 屋内外における鉄鋼製品に用いる有機溶剤を揮発成分とする液状・自然乾燥性のさび止め塗料。
- c) 3種 屋内外における鉄鋼製品に用いる速乾性があり、短期間の屋外暴露耐候性をもつ有機溶剤を揮発成分とする液状・自然乾燥性のさび止め塗料。
- d) 4種 屋内における鉄鋼製品に用いる水を主要な揮発成分とする液状・自然乾燥性のさび止め塗料。

5.品質

品質は、箇条7によって試験を行ったとき、表1に適合しなければならない。なお、ホルムアルデヒド放散等級は、7.15によって試験し、表2のとおり区分する。

表1 品質

項目	種類			
	1種	2種	3種	4種
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になる			
低温安定性(−5℃)	—			変質しない。
塗装作業性	支障がない			
表面乾燥性	表面乾燥する			
塗膜の外観	正常である			
上塗り適合性	支障がない			
耐屈曲性	折り曲げに耐える			
付着安定性	はがれを認めない			
サイクル腐食性	28サイクルで膨れ、さび及びはがれがない。		20サイクルで膨れ、さび及びはがれがない。	
加熱残分(質量分率%)	90以上	70以上	60以上	50以上
屋外暴露耐候性	6か月の屋外暴露耐候性試験に耐える		3か月の屋外暴露耐候性試験に耐える	

“—”：当該試験を適用しないことを示す。